



チャレンジ！一歩前へ

郡山市立大槻小学校
学校だより No.14
令和4年 6月21日
文責：校長 酒井 健

◇新型コロナウイルス感染拡大防止対策について

一日の感染者数を考えると、感染状況は減少していると言えます。福島県の「子どもの感染拡大防止重点対策」も、6月12日(日)をもって終了し、6月13日(月)からは、学校における行動基準も「レベル1」に引き下げられました。これから季節、蒸し暑い日が続きます。マスク着用についても郡山市では、本日配付いたしました別紙「マスクを外すのはどんなとき？」で対応していくこととなりました。

ただし、注意しなければいけないのは、「マスク着用の有無」の箇所です。例えば、登下校の時、マスク着用は必要なしとされていますが、これは、身体的距離が十分に確保できていること、近距離での会話はしないことが条件とされているということです。

学校では、熱中症につながるようなマスク着用は回避していくとともに、学年に応じて、時と場に応じたマスク着用を指導をしていきますが、ご家庭においても、子どもたちへのご指導をお願いいたします。次の言葉は、2年前の新聞の「論説」に書かれていた言葉(抜粋)です。今、減少傾向にある福島県、そして郡山市であります、だからこそ、下記の言葉が心に響きます。

～しかし、解除は社会が「新型コロナ以前」に戻ることを意味しない。全ての規制が解禁になるわけでも、われわれの心が解放されるわけでもない。収束の先の終息が見えない限り、これから時代は、新型コロナとの共存が前提となる～
～「巣ごもり」に疲れた県民にとっては、さまざまな規制の緩和によって、一気に解放感に浸りたいところだが、それでは、これまでの努力が無駄になってしまう～

「解除」は「解禁」でも「解放」でもない



◇「体力テスト」・・・1年生のお世話を6年生が・・・

6月に入り、「体力テスト」が全校生対象で実施されました。50m走、ボール投げ、走り幅跳び・・・など、たくさんの種目の記録を取りました。「体力テスト」が初めての1年生のために出動したのが6年生！1年生のお手伝いに熱心に取り組んでくれました。こういう姿を見ると、6年生の子どもたちが、ぐっと、お兄さん、お姉さんに見えてきます。さすが、学校を支えてくれている最上級生だと感心しました。



校長のひとりごと

大槻小学校『劇的ビフォーアフター』をご紹介します。今度、学校においでになった際には、ぜひ、中庭をご覧ください。大槻小学校のシンボルとも言える松の木がありますが、その手前に、花壇ができました。これは、用務員の佐藤さんが、雑草取り、土おこし、肥料土まき・・・すべての行程を一人で行い、きれいな花壇を作ってくれました。花が咲いたら、きれいな中庭が、さらにきれいな空間になることと思います。

もう一つは、同じ中庭のお話です。このところ、雨が続いている影響で、インターロッキングのところの雑草が伸びていました。この雑草を取っているのは、1年生の子どもたちです。一生懸命に雑草を取っている姿に感動しました。みるみる内にきれいになっていく中庭・・・1年生の皆さん、本当にありがとうございます！！





はず マスクを外すのはどんなとき？



れいわ ねん がつ こおりやまし きょういくい いんかい
令和4年6月 郡山市教育委員会 3 4 16 17

せいかつ ばめん 生活の場面

ちゃくよう うむ マスク着用の有無

○身体的距離が十分に確保できないとき

※ 屋外で会話をほとんど行わないことが想定される教育活動を除く

【屋外】

○人との距離が確保できるとき

○人との距離が確保できなくても、会話をほとんど行わないようなとき

【屋内】

○人との距離が確保でき、会話をほとんど行わないようなとき

【学校生活】

○屋外の運動場に限らず、プールや体育館等を含め、体育の授業や運動部活動のとき

○登下校のとき

○気温・湿度や暑さ指数が高い日の体育の授業や運動部活動、登下校のとき

マスク着用



マスク着用は必要なし



はず うえ マスクを外し、その上で、 できるだけ距離を空ける、 近距離での会話を控える



保護者・教職員のみなさまへ

- ※ 学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル等を踏まえた対応を基本とします。
- ※ 様々な理由からマスクの着用を希望する児童生徒等に対しても適切な配慮をお願いします。
- ※ 運動部活動でのマスク着用は、接触を伴うものをはじめ活動の実施に当たっては、各競技団体が作成するガイドライン等も踏まえて対応してください。